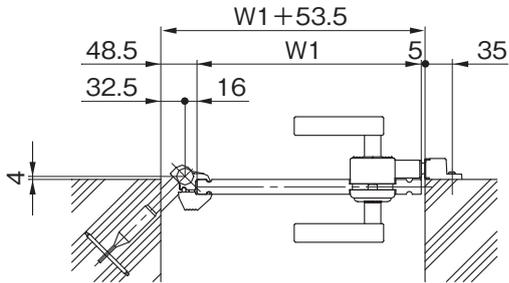


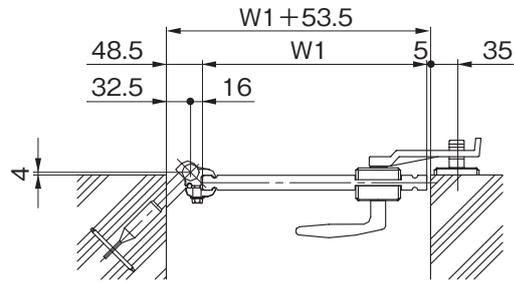


## 2. 門扉納まり寸法図

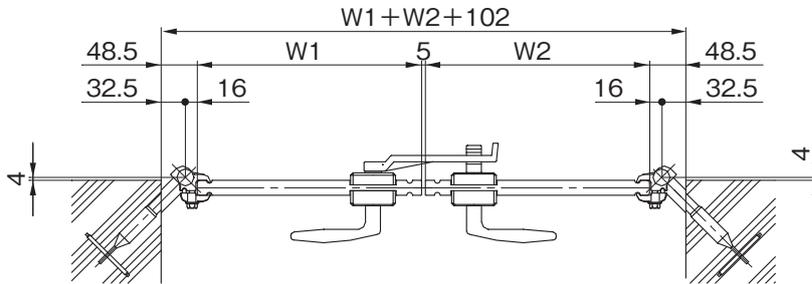
2-1 鋳物門扉片開き（ラッチ錠の場合）



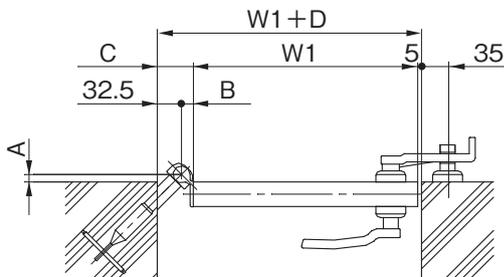
2-2 鋳物門扉片開き（アーム錠）



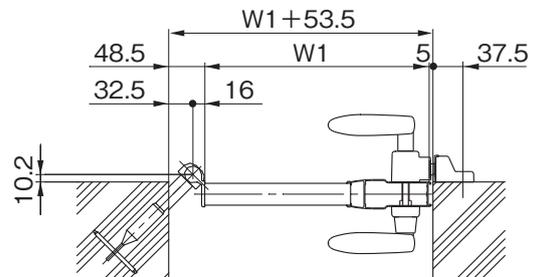
2-3 鋳物門扉両開き



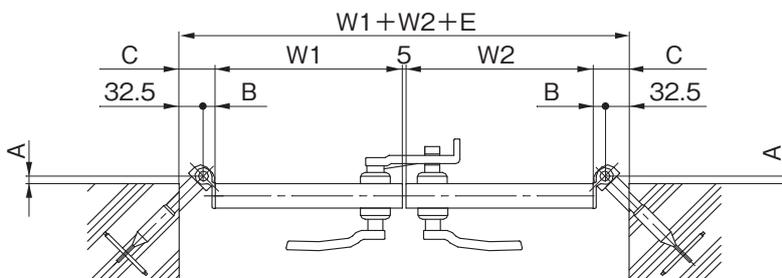
2-4a 形材門扉片開き



2-4b 形材門扉片開き（面付ラッチ錠）

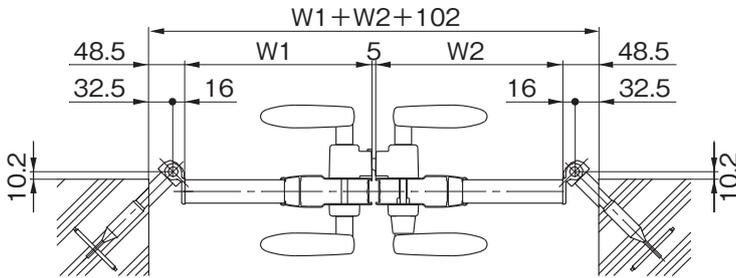


2-5a 形材門扉両開き

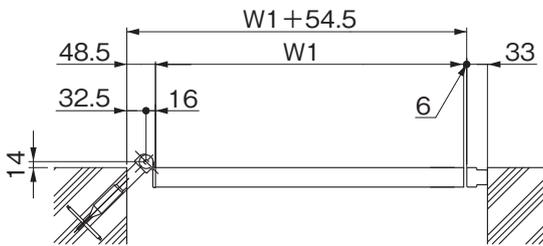


商品名	A	B	C	D	E
ハイ千峰	10.2	13	45.5	50.5	96
アメリカン	10.2	15.8	48.3	53.5	101.6
上記以外のアルミ形材門扉	14	16	48.5	53.5	102

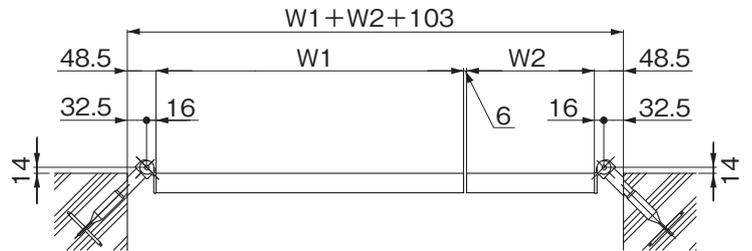
### 2-5b 型材門扉両開き（面付ラッチ錠）



### 2-6a 開き門扉AX片開き

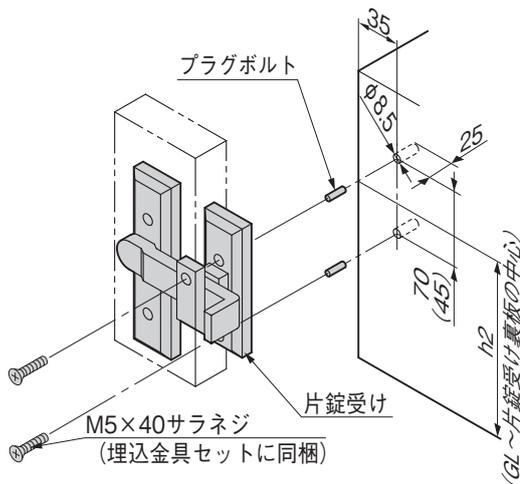


### 2-6b 開き門扉AX両開き



## 3. 片錠受けの取付け

### 3-1 躯体にプラグボルトが打てる場合



- ① 門扉を吊り、片錠受けの位置を合わせて孔をガイドにして、 $\phi 8.5$ の孔を25mmの深さまであけてください。
- ② プラグボルトを挿入し、M5×40サラネジD=10で片錠受けを取付けてください。

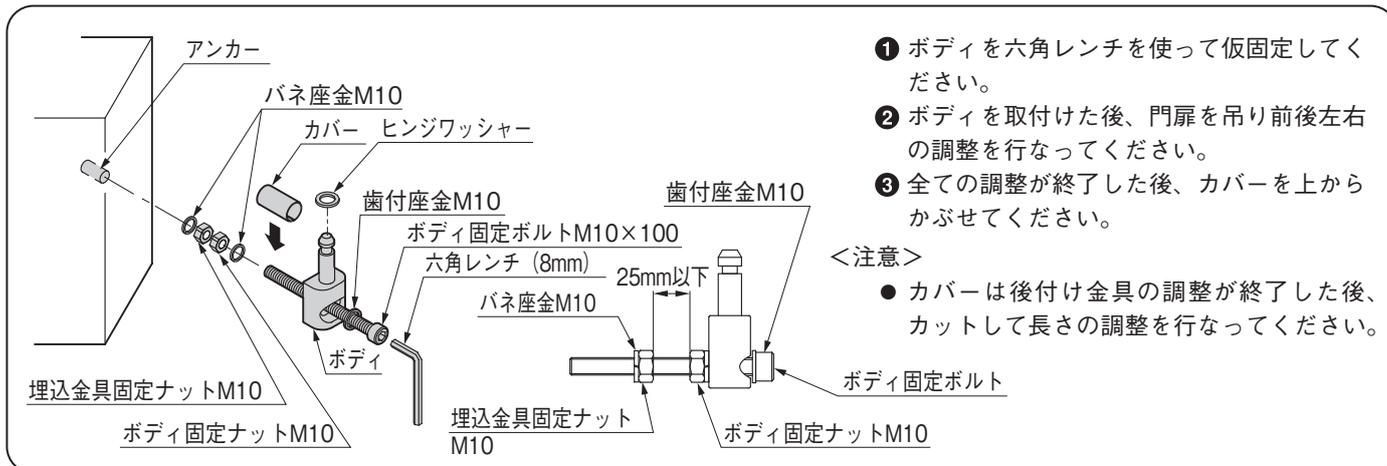
#### <注意>

- 片錠受け取付ネジは、埋込金具セットに入っているM5×40サラネジを使用してください。
- ( ) 寸法は鋳物アームRF錠を示します。
- 鋳物アームRF錠の場合は、M5×40サラネジD=8で片錠受けを取り付けてください。

### 3-2 躯体にプラグボルトが打てない場合

- ① 片錠受け裏板埋込寸法表 (A340) を参照して取付けてください。

## 4. 埋込金具の施工



- 1 ボディを六角レンチを使って仮固定してください。
- 2 ボディを取付けた後、門扉を吊り前後左右の調整を行なってください。
- 3 全ての調整が終了した後、カバーを上からかぶせてください。

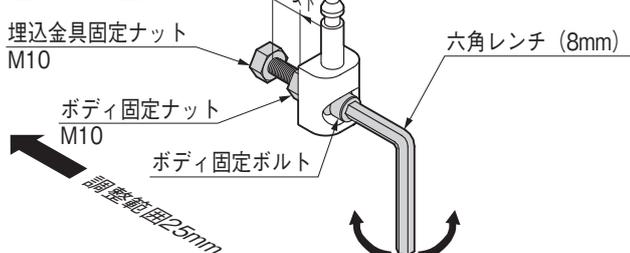
<注意>

- カバーは後付け金具の調整が終了した後、カットして長さの調整を行なってください。

## 5. 埋込金具の固定方法および調整方法

### 5-1 埋込金具の調整方法

#### 左右の調整方法

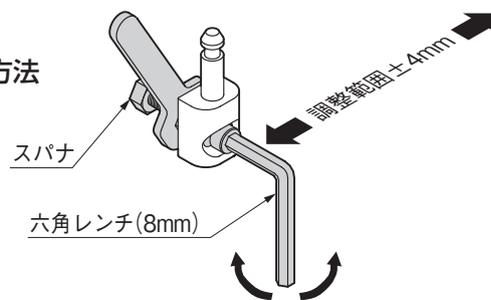


- 1 埋込金具固定ナット、ボディ固定ナットをゆるめた後、ボディ固定ボルトを回転させて調整してください。

<注意>

- 埋込金具固定ナットとボディ固定ナットの間は25mm以上あけないでください。

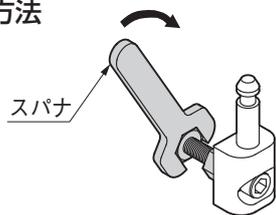
#### 前後の調整方法



- 1 ボディ固定ナットをゆるめてボディを前後に動かして調整した後、5-2 の要領で締め込んでください。

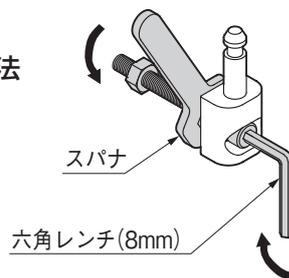
### 5-2 埋込金具の固定方法

#### 壁への固定方法



- 1 スパナを右方向(時計回り)に回転させて締め込んでください。

#### ボディの固定方法



- 1 六角レンチを右方向(時計回り)に回転させ、スパナを左方向(反時計回り)に回して締め込んでください。

### 工事店様へ

- 仕上げ後、本体に付いているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化前後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。

- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

**A288**

KAW572679M  
200209A\_1006  
202504M\_1049